

ALL 1からの
飛躍!

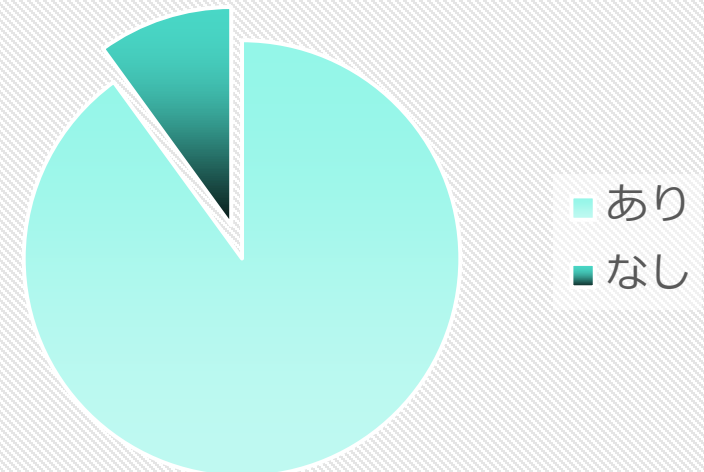
アニマルウェルフェア

明治HD	日本ハム	味の素	山崎製パン	マルハニチロ	伊藤ハム 米久HD	日清製粉 GH	ニッスイ	雪印メグ ミルク	森永乳業
2	4	2	1	1	2	1	3	1	1

アニマルウェルフェアについて、日本企業がここ数年で方針を持ち始めた！

方針がまったくなかった1社を除き、なんらかの形でアニマルウェルフェアに言及。
得点差も大きかった。

アニマルウェルフェアへの
言及



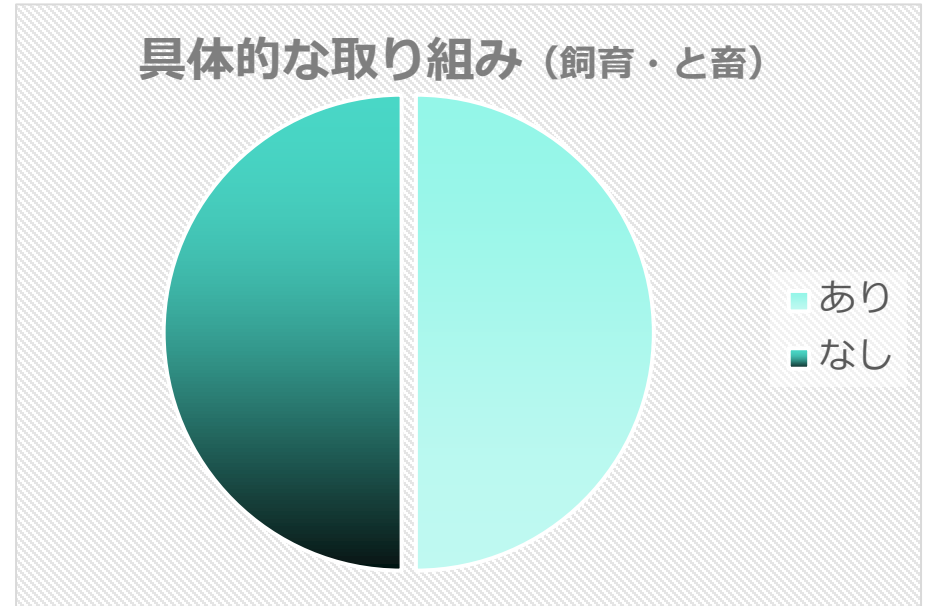
畜産・水産動物のアニマルウェルフェアへの取り組み

具体的な施策にまで届いていない企業が50%。取り組みのある企業でも98点中17点であり、伸びしろが大きい。

A.閉鎖的監禁・集約的システム B.慣習的部分切除や、残酷な手技 への対応が配点が多い部分であるが、これらの取り組みが日本企業はまだ進んでいないのが実情。

良い取り組みを追加するだけでは、企業価値を上げられない
悪い飼育、扱いを排除することを重視

そうでないと、アニマルウェルフェアが上がらない=持続可能性にも悪影響を与え続けることになる



飼育、と畜の改善は必須

例

3-B-1 屠畜前のスタンニング（気絶処理）が行われていない動物の肉を避ける方針を持っていますか

鶏肉を仕入れる企業にとって、国産鶏肉を使うのであれば必ず方針を持たなくてはならない

欧米やタイ、ブラジルは法的に事前スタンニングが義務化されているが、日本は法的根拠がない。企業のポリシーがなければ気絶処理を行わない鶏肉を使うということになる

具体策を取り入れどのように公開するかが課題

AWを正しく知る

AWへの取り組みを会社として決定する

大まかな方向性を策定する

国際水準のAWを目指すことを決め具体的にコミットメントを公表する

詳細なAWの調達基準を策定する

毎年進捗を報告する

さらなる改善を模索する

KPIを策定し定点観測を行う

自社の現状を把握し公開



動物実験

化粧品の動物実験は国内企業でも自主廃止に向かっているが、食品の動物実験が次の課題に挙がっている

- 安全性
- ヘルスクレーム（機能性、有効性）
- 予備試験
- 基礎研究、共同研究等

食品に関する動物実験をすべて廃止する企業が少しずつ増える中であるが、ヘルスクレームの廃止は多くの企業が達成しているものの、その他の動物実験への取り組みが見られないケースが多かった。

除外できるもの：
市販後に事故が発生し説明責任が生じた時、海外の法律で動物実験が義務付けられている場合



植物性タンパク質

植物性たんぱく質の商品の拡大を目標に掲げていたり、投資をしていたり、なんらかの商品を持つ企業が多かった。

社員食堂でのミートフリーマンデーを実施し、社員への社会課題の解決にたいする意識を浸透させる企業があり、高く評価した。

具体的な取り組み（飼育・と畜）

